

ストリングラフィ・アンサンブル 「糸の森の音楽会」

7月21日(土)、静岡科学館る・くるとの連携事業として、ストリングラフィ・アンサンブル「糸の森の音楽会」公演を実施しました。「ストリングラフィ」とは、今回ご出演いただいた、作曲家で演奏者の水嶋一江さんによって考案された糸電話の原理を応用した楽器のことで、紙コップの取り付けられた糸を手で擦ったり、弾いたりすることで音を出します。会場となった静岡科学館る・くるとのイベントホールいっばいにセッティングされた楽器に来場者の皆さんは興味津々な様子でした。コンサートは、クラシック曲からディズニー音楽、カエルの鳴き声まで多彩なプログラムで、手拍子あり、掛け声ありの大盛り上がり。お子様から大人の方までみんなで楽しめたコンサートとなりました。



静岡県立清水南高等学校で公開レッスンを実施しました。



7月27日(金)、静岡県立清水南高等学校で公開レッスンを実施しました。講師はブラームス：交響曲全集Ⅳ(7月29日(日)15:00開演)でピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.83のソリストを務めたマルクス・バヴリック氏。芸術科音楽専攻に在籍する高校3年生の2人がそれぞれ、F.ショパン：バラード第1番 ト短調 op.23、F.リスト：《2つの伝説》より《波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ》でレッスンを受けました。

ショパンのバラード第1番では、ショパンがベッリーニやドニゼッティのオペラからの影響を受けている話をしてくださり、「オペラのアリアのように」とか「コロラトゥーラのイメージで」というアドバイスが。身体の使い方についてもアドバイスがありました。

続くリストの《波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ》では、音を整理すること、すべての音を出そうとするのではなく、聴かせたい音は強調し、そうでない音は力を抜いて弾くようにというアドバイスがされていました。

レッスンをするのは自身の勉強にもなるので好きだとおっしゃっていたバヴリック氏。とても熱心な指導で、充実した公開レッスンでした。



高度なハーモニカの演奏にビックリしました。ハーモニカの音色の印象が変わりました。

(5/23 ランチタイム・コンサート 和谷泰扶 ハーモニカの世界 ご来場者より)

ご来場誠にありがとうございました。

身近な楽器の新たな一面をお聴きいただけたことと思います。子どもころを思い出し、もう一度ハーモニカを吹いてみたくなった方もいらしたのではないのでしょうか。音楽は聴くもよし、自身で演奏するもよし。これからも楽しんでいただけると嬉しいです。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ
お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成30年度をもって退会をご希望のかたは、平成31年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2018年8月末現在)50音順

●(株)アオイテレック	●(株)タミヤ
●(株)SBSプロモーション	●(株)戸田書店
●(株)ジェイアール東海ホテルズ	●(有)丸吉事務機
ホテルアソシア静岡	●(株)メディア・ミックス静岡

コンサートシリーズ2018-19
主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫
協 賛 アイワ不動産HD studio FORUM
ホテル センチュリー 静岡 ANSHINDO

助 成 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
文化庁
独立行政法人日本芸術文化振興会

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止となっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

託児サービス
要事前予約(1週間前まで)・託児料：1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～15:00)
e-mail: swan@xqj.biglobe.ne.jp
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。



CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)9:00～21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9
お 問 合 せ
054-251-2200

AOI 検索

AOI 通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
SEPTEMBER 2018 No.91

秋号

ポール・メイエ (クラリネット)

AOI・レジデンス・クワルテット

小林美恵 (ヴァイオリン) × 河野文昭 (チェロ) 対談

静岡室内楽フェスティバル2018

オーケストラで綴る
フィギュアスケート名曲コンサート～銀盤の妖精へのオマージュ～

コンサートレポート／子どものためのコンサート
小川典子 ピアノ・リサイタル
～ピアノで、時を超える世界旅行～

ストリングラフィ・アンサンブル「糸の森の音楽会」

マルクス・バヴリック マスタークラス



メッセージ ポール・メイエ (クラリネット)

10月にAOIに登場するポール・メイエさん。

前回ご出演くださったのは2007年11月。

AOI・レジデンス・クワルテットとの共演でした。

公演に向けて、メッセージを寄せてくださいました。

クラリネットとピアノのためのレパートリーから美しい作品を皆さまにお届け出来ることを大変心待ちにしています。この素晴らしいプログラムを山田武彦さんと演奏出来るのは光栄ですし、大きな喜びです。富士山の様な素晴らしい環境に恵まれた、素晴らしい音響のホールで、聴衆の皆様とこの稀有な機会を分かち合えることを嬉しく思っております。それでは、静岡音楽館AOIでお会いしましょう！

ポール・メイエ (クラリネット奏者)

2020しずおか文化プロジェクト
静岡市文化振興財団

静岡 室内楽フェスティバル2018

ポール・メイエ クラリネット・リサイタル

10/26

22歳以下
¥1,000

19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 ¥5,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥4,500)
※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり。)
[Pコード:344-438]

出演
ポール・メイエ (クラリネット)
山田武彦 (ピアノ)

曲目
R.シューマン：幻想小曲集 op.73
C.ライネッケ：クラリネット・ソナタ《ウンディーネ》op.167bis
R.シュトラウス：交響詩《ティル・オイレンシュピーゲルの
愉快ないたずら》op.28 (山田武彦 編)
C.M.v.ウェーバー：協奏的大二重奏曲 変ホ長調 op.48、J.204



©Shin Yamagishi



2007.11.11 AOI・レジデンス・クワルテット ～ポール・メイエを迎えて
撮影：日置真光

AOI・レジデンス・クワルテット 小林美恵 (ヴァイオリン) × 河野文昭 (チェロ) 対談

夏号に引き続き、今回はAOI・レジデンス・クワルテットの小林美恵さん(セカンド・ヴァイオリン)と河野文昭さん(チェロ)にお話を伺いました。

— これまでのARQの演奏会での思い出は？

河野：私がこのクワルテットに参加したのは、1998年、ペンデレツキの弦楽四重奏曲第1番とピアノの岡田博美さんと一緒にブラームスのピアノ五重奏曲を演奏したのが始まりでした。思えば、随分長いことやっていますね。その中でも僕はバルトークの弦楽四重奏曲3曲を演奏した回^{*1}が一番印象に残っています。

小林：私はベルクの抒情組曲を演奏した回²です。もしもう一度やるのであれば、絶対にこの曲を演奏したいです。

河野：3年前(2015年)に演奏した野平一郎さんの弦楽四重奏曲第5番(世界初演)は、スリリングでもあり、エキサイティングでもある魅力的な作品でした。聴いていただいたお客様にも感じていただけたのではないかな。

小林：ARQの初期の時代、間宮芳生さんが芸術監督だった頃は、毎回必ず現代作曲家の作品を取り上げていました。クルタークやペンデレツキ、三輪眞弘さんの作品など^{*3}。譜読みはとても難しくて大変でしたが、こういう曲があるんだと、とても新鮮に感じたことを覚えています。そのなかでも間宮先生の弦楽四重奏曲第1番は、極めつけに難しかったです。

— ご自身のパートの役割や魅力についてお聞かせ下さい。

小林：セカンド・ヴァイオリンは、曲の中で主に内声部分を担当することが多いのですが、役割として音程や音色感を瞬時に弾き分ける能力が求められます。音楽的なことも、曲の進み方も、自分だけでどうにかできるものではなく、メンバー4人の調和の中に見出していかなければならず、そこがとても奥深いところです。実はこれまでの自分自身の演奏でほとんど満足したことがありません。そこが楽しいところでもあります。

河野：クワルテットは指揮者がいないので、4人それぞれが曲全体を俯瞰するような素養が絶対に必要だと思います。それはセカンド・ヴァイオリンだけじゃなく、チェロもヴィオラも、ファースト・ヴァイオリンですらそう、その中で自分たちの主張とクワルテットとしてのまとまりをどう見つけていくか、ということがとても重要です。チェロは特にその素養が大切で、音楽全体を把握して今はこのハーモニーから次のフレーズに向かってこういうハーモニーの移ろいがあるとか、突然こんなハーモニーが出てきたら、そのハーモニーの土台になるバスの音がどういう風に全体をリードしていくか、というようなことが分かってないといけません。そういう意味では指揮者役をやっているという面があるのかもしれない。

— 11月に演奏していただく曲目について

小林：ヴァイオリン弾きだったシベリウスの弦楽四重奏曲op.56は、有名なヴァイオリン協奏曲op.47より後に作られた曲です。シベリウスは晩年、引きこもってしまいあまり曲が書けなくなりましたが、この曲はまだシベリウスが元気な時に書かれた作品です。

河野：シベリウスはこの作品のほかにも弦楽四重奏を書いていますが、いずれも若書きのもので、この作品以外は現在ほとんど演奏されません。この曲にはシベリウスの交響曲に登場する音型がたくさん出てきます。

小林：ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲第8番は、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲のなかで一番有名な曲です。冒頭にショスタコーヴィチ独自の音型(DSCH音型)が出てきます。

河野：ショスタコーヴィチのこの作品はパロディでできていて、過去に書いたショスタコーヴィチ自身の作品からメロディを抜粋して用いています。交響曲第1番やオペラ《ムツェンスク郡のマクベス夫人》、チェロ協奏曲第1番、ピアノ三重奏曲第2番などなど。

小林：ベートーヴェンの弦楽四重奏曲は、第1番を弾いたときもそうでしたが、回を重ねる毎にベートーヴェンの色々な顔が見えてきます。今回演奏する第4番もまた、ベートーヴェン独特の典型的な部分がでてきます。

— 11月のコンサートに向けて抱負をお願いいたします。

河野：今回の演奏会の目玉はシベリウスだと思います。今まで、AOI・レジデンス・クワルテットではやったことのない傾向の音楽だし、シベリウスの交響曲に引けをとらない響きの魅力やシベリウス作品の真骨頂的な部分が良く見えると思いますので、是非味わってください。

小林：ホールにいらっしゃっていただくことが一番の楽しさだと思います。そのことを、演奏会場で演奏を通じて直接皆様にお伝えしたいと思います。演奏会場で会いいたしましょう。

聴き手：竹内啓 (静岡音楽館AOI学芸員)

2020しずおか文化プロジェクト
静岡市文化振興財団

静岡 室内楽フェスティバル2018

AOI・レジデンス・クワルテット

11/10

[Pコード:344-440] ※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

18:00開演 (17:30開場)
全指定 ¥3,500
(静岡音楽館倶楽部会員 ¥3,150)

出演
AOI・レジデンス・クワルテット
松原勝也、小林美恵 (ヴァイオリン)
川本嘉子 (ヴィオラ)
河野文昭 (チェロ)

曲目
L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第4番 八短調 op.18-4
D.ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第8番 八短調 op.110
J.シベリウス：弦楽四重奏曲《親愛なる声》二短調 op.56

撮影：日置真光

静岡室内楽フェスティバル

Shizuoka Chamber Music Festival 2018

静岡の秋は、い3んなとこ3で室内楽！
2018 10/3(水) ▶ 11/30(金)

【主管】静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

2020しずおか文化プロジェクト
静岡市文化振興財団



J.S.バッハの世界

～《音楽の捧げもの》とカンタータ～

CONCERT SERIES
2018-19

10/6[土] 15:00 開演 (14:30 開場)

全指定¥5,000
(静岡音楽館倶楽部会員¥4,500、22歳以下¥1,000)
[Pコード=344-432]

会場／静岡音楽館AOI ホール(8階)

出演／森麻季(ソプラノ)、
寺谷千枝子(メゾソプラノ)、
吉田浩之(テノール)、河野克典(バリトン)、
水谷晃、瀧村依里(ヴァイオリン)、
大島亮(ヴィオラ)、花崎薫(チェロ)、
佐久間由美子(フルート)、
荒木奏美、南方総子(オーガエ)、
吉永雅人(ホルン)、
栗形亜樹子(チェンバロ)

曲目／J.S.バッハ：トリオ・ソナタト長調 BWV1038
《音楽の捧げもの》BWV1079 より
カンタータ第78番《イエスよ、あなたは我が魂を》BWV78



写真：林嘉代様

ポール・メイェ クラリネット・リサイタル

10/26[金] 19:00 開演 (18:30 開場)

全指定¥5,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=344-438]

会場／静岡音楽館AOI ホール(8階)

出演／ポール・メイェ(クラリネット)、山田武彦(ピアノ)

曲目／R.シューマン：幻想小曲集 op.73
C.ライネッケ：クラリネット・ソナタ《ウンディーネ》op.167bis
R.シュトラウス：交響詩《テル・オレンシュビーゲル》の愉快ないざら op.28 (山田武彦 編)
C.M.v.ウェーバー：協奏的大二重奏曲 変奏曲 op.48、J.204



©Shin Yamagishi

AOI・レジデンス・クワルテット

11/10[土] 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,150、22歳以下¥1,000)
[Pコード=344-440]

会場／静岡音楽館AOI ホール(8階)

出演／AOI・レジデンス・クワルテット
〔松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)〕

曲目／L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 op.18-4
D.ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第8番 ハ短調 op.110
J.シベリウス：弦楽四重奏曲《親愛なる声》二短調 op.56

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 op.18-4
10/5(金) 講師：関本淑乃(静岡音楽館AOI学芸員)
J.シベリウス：弦楽四重奏曲《親愛なる声》二短調 op.56
10/11(木) 講師：小林旬(静岡音楽館AOI学芸員)
D.ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第8番 ハ短調 op.110
10/19(金) 講師：竹内啓(静岡音楽館AOI学芸員)
いずれも19:00～20:30 会場 静岡音楽館AOI・講堂(7階) 無料(要申込)



撮影：日置真光

第8回 アマチュア・アンサンブルの日

11/23[金・祝]

12:00 開演 (11:30 開場)

*19:00 終演予定

無料(申込不要)

*ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。
*未就学児もご入場いただけます。
*託児サービスはありません。

会場／静岡音楽館AOI ホール(8階)

出演／第1部 12:00 開演

Alumni(ヴァイオリン、ピアノ)、アンサンブル
HONEY(ヴァイオリン、ピアノ)、アンサンブル・
ヴァン・ルーシュ(ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)、
アラウンド フィフティーズ(うた、ヴァイオリン、
ピアノ)、アンサンブル静岡(フルート、ヴィオラ、
チェロ、ギター)、ラリレロ(弦楽合奏)

第2部 14:00 開演(予定)

篠笛アンサンブル フラウタ、Papillon(イングリッシュハープ四重奏)、ブチドレ
ミ(オカリナアンサンブル)、ハンドベルアンサンブル エクレール、フレンズ(マンドリン・ギターアンサンブル)、ギターア
ンサンブル サウンド・オブ・ドリーム

第3部 16:00 開演(予定)

クッキーズ(フルート三重奏)、アンサンブル「とろ」(トロンボーン四重奏)、カプリチオ(木管アンサンブル)、Granz
Trombone Quartet(トロンボーン四重奏)、志太室内楽団(木管アンサンブル)、amici(ピアノ、うた、サクソフォン、打楽器)、
Saxophone Ensemble PICO(サクソフォンアンサンブル)、プラス・アンダンテ静岡(金管アンサンブル)、Ensemble
Mishmash(クラリネット四重奏)、Saxophone Ensemble Pont de Cerisier(サクソフォン四重奏)、どんどんプラス
(金管アンサンブル)



アンサンブル・ヴァン・ルーシュ



アラウンド フィフティーズ



アンサンブル「とろ」



アンサンブル静岡

子どものためのコンサート 0歳児からの ファミリー・コンサート Vol.3

A

10/13[土]

10:30 開演 (10:00 開場) *11:30 終演予定(休憩はありません)

全自由¥300 (静岡音楽館倶楽部会員割引はありません) 定員300名

会場／静岡音楽館AOI・講堂(7階)

出演／東海大学付属静岡翔洋高等学校・中部吹奏楽部のメンバーより

曲目／アメリカ民謡《幸せなら手をたたこう》
久石譲：映画「となりのトトロ」より《さんぽ》
三木たかし：アンパンマンのマーチ
秋のメドレー ほか



*チケットは静岡音楽館AOIのみで販売します。
*未就学児もご入場いただけます(チケットが必要です)。
*10歳以上の方のみでの入場はできません。
託児サービスはありません。

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業
静岡市美術館「セーヴル、創造の300年」展
ミュージアム・コンサート

気軽にモーツァルト 歌とピアノ ヴァイオリンの サロンコンサート

10/14[日]

15:00 開演 (14:30 開場) *16:00 終演予定

全自由¥1,000 (静岡音楽館倶楽部会員割引はありません)

会場／静岡市美術館・多目的室 定員70名

出演／金持亜実(ソプラノ)、大倉礼加(ヴァイオリン)、里見有希(ピアノ)

曲目／W.A.モーツァルト：歌劇《ツァーエーダ》K.344(336b)より《安らかにやすみ》
歌劇《フィガロの結婚》K.492 より《恋とはどんなものかしら》
ヴァイオリン・ソナタ第34番 第1楽章 K.378(317a) 第3楽章
ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》イ短調 K.219 第3楽章
ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 K.331 第3楽章(トルコ行進曲)
(きらきら星) 変奏曲 ハ長調 K.265(300a)ほか (断片)

【主催・お問合せ】静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団 TEL.054-251-2200
【協力】静岡市美術館



まちは劇場 プロジェクト まちかどコンサート

無料(申込不要) *当日の天候によって中止する場合があります。



I 10/3[水] 12:20～13:00

会場／JR静岡駅北口地下広場イベントスペース

J 10/18[木] 13:20～14:00

会場／新静岡セノバ南口(ひやま通り口)

H 10/20[土] 13:20～14:00

会場／静岡市上下水道局庁舎玄関前広場

L 10/21[日] 12:20～13:00

会場／清水駅前銀座商店街振興組合横

I 11/7[水] 12:20～13:00

会場／JR静岡駅北口地下広場イベントスペース

J 11/8[木] 13:20～14:00

会場／新静岡セノバ南口(ひやま通り口)

K 11/17[土] 15:00頃

会場／静岡呉服町札の辻(静岡伊勢丹前)

L 11/18[日] 12:20～13:00

会場／清水駅前銀座商店街振興組合横

出演／静岡交響楽団



I 10/26[金] 16:00～16:30
(フルート・アンサンブル)
(弦楽四重奏)



会場／JR静岡駅北口地下広場
イベントスペース
出演／静岡フィルハーモニー管弦楽団メンバー
曲目／W.A.モーツァルト：フルート四重奏曲 ほか

【主催】静岡市
【企画・制作・お問合せ】
静岡交響楽団 TEL.054-203-6678(10/26日外)
(公財)静岡市文化振興財団 TEL.054-255-4746(10/26)

フレンチのタベ チェロ二重奏 ミクニのディナーとともに

M

完売

10/13[土] コンサート18:00～18:30

¥8,250(サービス料込、ドリンク代別)

ディナーコース(先付・前菜・スープ・魚料理・肉料理・デザート)

会場／フレンチ・レストラン MIKUNI SHIMIZU

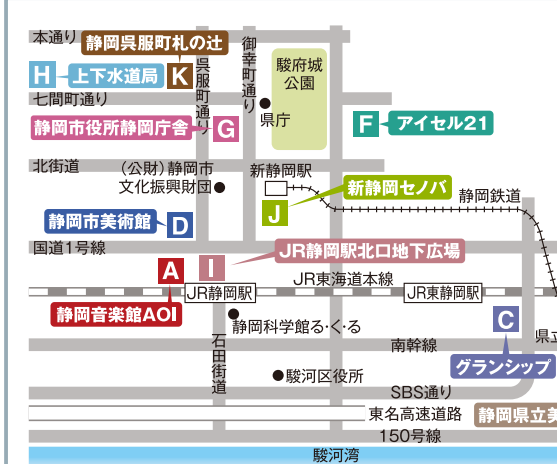
(フェルケール博物館 横)

出演／生駒宗隆、鈴木裕彦(チェロ二重奏) (静岡交響楽団)

曲目／S.ジョージ：エンターテイナー

J.V.リエール：2つのチェロのためのソナタ 第1、3楽章 ほか

【主催】静岡市清水文化会館マリナート 【お申込み】MIKUNI SHIMIZU TEL.054-355-3920(11/30～20/30、火・休)



- A 静岡音楽館AOI 静岡市葵区黒金町1-9
- B 静岡市清水文化会館マリナート 静岡市清水区島崎町214
- C 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1
- D 静岡市美術館 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階
- E 静岡県立美術館 静岡市駿河区谷田53-2
- F アイセル21 静岡市葵生涯学習センター 静岡市葵区東草深町3-18
- G 静岡市役所静岡庁舎 静岡市葵区追手町5-1
- H 静岡市上下水道局庁舎玄関前広場 静岡市葵区七間町15-1
- I JR静岡駅北口地下広場イベントスペース
- J 新静岡セノバ南口(ひやま通り口) 静岡市葵区鷹匠1丁目1-1
- K 静岡呉服町札の辻(静岡伊勢丹前) 静岡市葵区呉服町1-7
- L 清水駅前銀座商店街振興組合横 静岡市清水区真砂町5-22
- M フレンチ・レストラン MIKUNI SHIMIZU 静岡市清水区港町2丁目8-1 (フェルケール博物館 横)

*価格は税込です。*都合により内容を変更する場合があります。

静岡市葵生涯学習センター×静岡音楽館AOI 共催事業
「静岡の名手たち」によるファミリー・コンサート

クラリネットで聴く 童謡・唱歌のしらべ

11/25[日]

14:00 開演 (13:30 開場) *15:00 終演予定

全自由¥500

*未就学児もご入場いただけます。(チケットが必要です) 10/6(土)9:00より発売

会場／アイセル21 静岡市葵生涯学習センター

出演／鈴木悠紀子(クラリネット)、橋本健太郎(ピアノ)

曲目／ポーランド民謡(クラリネット・ホルカ)

フランス童謡(クラリネット・こわしやった)

W.A.モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 第1楽章

岡野真一：もみじ

中田喜直：ちいさい秋みつけた

D.ロヴェレニョ：歌劇《椿姫》の旋律による演奏会用幻想曲 op.45 ほか

【主催・お問合せ】静岡市葵生涯学習センター 指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体

TEL.054-246-6191

【協力】静岡音楽館AOI



第236回 Hotひといきコンサート

無料(申込不要) 会場／静岡市役所静岡庁舎 新館1階ラウンジ

11/20[火]

12:00～12:50

出演／オートクチュール・サクソ・カルテット

曲目／J.ガーランド：In the Mood

J.ウィナー：茶色的小嵐 ほか

11/21[水] 12:00～12:50

出演／清郷孝亮(ピアノ)、香山竜也(ピアノ)、深澤太一(ピアノ)

曲目／G.F.ヘンデル：調子のよい戯曲集 HWV430

荒井由美：ひこうき雲 ほか

【主催】静岡市 【企画・制作・お問合せ】(公財)静岡市文化振興財団 TEL.054-255-4746

マリナート プレミアム・フライデー コンサート

11/30[金] 18:30 開演 (18:00 開場) *19:15 終演予定

無料(要整理券) *未就学児はご入場いただけません。

会場／静岡市清水文化会館マリナート・小ホール

出演／マリナート・ウインズ

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【協力】

ドビュッシー没後100年

フランスの貴公子

ヴァンサン・ラルドゥレ

ピアノ・リサイタル

10/20[土] 14:00 開演 (13:30 開場)

全指定¥3,500 (学生・大学生以下¥1,000) *未就学児はご入場いただけません。

会場／静岡市清水文化会館マリナート・小ホール

出演／ヴァンサン・ラルドゥレ

曲目／C.ドビュッシー：前奏曲集 第2集

リスト：《詩的で宗教的な調べ》S.173 第7巻(葬送、1849年10月)

F.ショパン：ノクターン第2番 変奏曲 op.38

M.ラヴェル：夜のガスパール

【チケットお取扱い】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885

チケット代(Pコード=119-125)TEL.0570-02-9999

ローンチケット(Lコード=2077)TEL.0570-064-004

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

【主催・お問合せ】静岡市清水文化会館マリナート TEL.054-353-8885(月・休)

11月16日 「オーケストラで綴るフィギュアスケート名曲コンサート」 ～銀盤の妖精へのオマージュ～

演技の伴奏音楽はフィギュアスケートの選手にとって成否の鍵となる。自分のチャーム・ポイントを強くアピールするには、曲想が流麗かつ起伏に富み、場面をありありとイメージできる楽曲が望ましい。この条件にもっとも適っているのが、多彩な楽器で演奏されて豊かな響きとゆたかな表情を持つ、オーケストラ楽曲である。

11月16日に開催される「オーケストラで綴るフィギュアスケート名曲コンサート」は、フィギュアスケートの名選手たちがここの決めステージで使用し、見事栄冠を勝ち得た名曲5曲を一挙に聴ける絶好の機会だ。

コンサートはアラム・ハチャトゥリアンの劇付随音楽《仮面舞踏会》の〈ワルツ〉から始まる。夫に殺害される直前の妻ニーナが、不幸な未来も知らず舞踏会の雰囲気にとりこめ浸る場面の音楽なので、ドラマティックで悲劇的な雰囲気を持つ。浅田真央選手がフリープログラムに使用し、織田信成選手がショートプログラムに用いた曲としても名高い。

2曲目の〈花のワルツ〉はチャイコフスキーのバレエ《くるみ割り人形》の第2幕で女王の侍女たちが踊る曲。これも浅田真央選手ゆかりの楽曲で、彼女は2005年のグランプリ・ファイナルにこれを用い、女王スルツカヤを制した。

続くリムスキー＝コルサコフの交響組曲《シェヘラザード》の第3曲〈若い王子と王女〉は、伊藤みどり選手が1989-1990シー

ズンのフリープログラムに採用し、1990年の世界選手権で準優勝を勝ち得た曲だ。その後もミシェル・クワン選手、安藤美姫選手、金妍児選手、エヴァン・ライサチェック選手らがこの曲のお世話になった。

ご存知、ビゼーの《カルメン》第2組曲も安藤美姫選手他が愛用した曲。そして後半に菊池洋子を迎えて演奏されるラフマニノフのピアノ協奏曲第2番も浅田真央選手が2014年ソチ五輪のフリースケーティング使用した曲。でも実は1992年のアルペールビル五輪で銀メダルを獲得した伊藤みどり選手もこれを選んでいた。

というわけで、フィギュアスケート名曲ビッグ5が揃った。垣内悠希(指揮)、菊池洋子(ピアノ)、静岡交響楽団の名演に期待したい。

萩谷由喜子(音楽評論家)



©Jean Philippe Raibaud



©Marco Borggreve



オーケストラで綴る フィギュアスケート 名曲コンサート ～銀盤の妖精へのオマージュ～

11/16 金

22歳以下
¥1,000

19:00 開演(18:30 開場)
全指定 ¥3,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥2,700)
※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり。)
[Pコード:344-457]

出演
垣内悠希(指揮)
菊池洋子(ピアノ)
静岡交響楽団

曲目
A.ハチャトゥリアン：劇付随音楽《仮面舞踏会》より〈ワルツ〉
P.I.チャイコフスキー：バレエ《くるみ割り人形》op.71a より〈花のワルツ〉
N.リムスキー＝コルサコフ：交響組曲《シェヘラザード》op.35 より〈若い王子と王女〉
G.ビゼー：《カルメン》第2組曲
S.ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18

CONCERT REPORT

コンサートレポート

子どものためのコンサート
小川典子 ピアノ・リサイタル 2018年6月16日
～ピアノで、時を超える世界旅行～

後藤友香理
(ピアニスト、静岡大学教育学部講師、静岡音楽館AOI市民会議員)

「子どものためのコンサート」というとどのようなコンサートを想像されるだろうか。子どもにとって馴染みのある曲ばかりを集めたコンサート？ お話を交えた堅苦しくないコンサート？

長い歴史に裏打ちされた伝統を持つクラシック音楽は、聴く側にある程度の前提条件や知識を要求する側面も持っている。そのようなクラシック音楽のコンサートにおいて、「子どもにでも理解できる内容を」と考えてしまうと、単純に音楽的なレベルを下げたものになってしまう危険もある。子どもが最後まで楽しむことができ、なおかつ「本物」を味わわせることができる——この二つを両立させることは案外難しい。たとえ内容を易しくしたとしても、そこにただ楽しいだけではない、音楽の持つ普遍的な力が感じられること、そしてライブならではの「音楽の生み出される瞬間」の興奮を味わうことができること——それはもしかしら通常のコンサートと同じくらい、あるいはそれ以上の工夫と情熱が、企画する側にも演奏者側にも求められるかもしれない。しかし、AOIの「子どものためのコンサート」シリーズは毎回様々な企画で、その二つの問題を軽々とクリアしてきた。この日行われた「小川典子 ピアノ・リサイタル」も、よく知っている曲の中に改めて魅力を発見しながら聴くという喜びを感じさせるコンサートとなった。

モーツァルトの《トルコ行進曲》、ベートーヴェンの《エリーゼのために》、リストの《ラ・カンパネラ》…プログラムに並んだ曲目は確かに誰もが聴いたことのあるクラシックの有名曲であり、合間に演奏者によるトークがあるという点においても従来の「子どものためのコンサート」と変わらないスタイルかもしれない。しかし小川典子の手にかかると、1曲



撮影：日置真光

目の《トルコ行進曲》からなんと瑞々しく、清冽に聞こえることだろう。ことさらに奇をてらうこともなく折り目正しい、しかし磨き抜かれた芯のある音で音楽の輪郭をくっきりと浮かびあがらせていくその演奏は、飽きるほど聴いたはずのこの曲を、全く手垢のついていないキラキラとした宝石へと変える。改めてこの曲がなぜこれほど多くの人に愛され、何度も演奏されてきたのか、子どもと一緒に胸にストンと落ちる。

小川典子のこの演奏スタイルは、曲の合間に挟まれるトークにも通じる。この日のコンサートの副題は「ピアノで、時を超える世界旅行」。オーストリアから始まってドイツ、ハンガリー、ポーランド、フランス、ロシア、日本、そしてイギリス、アメリカ。時代も古典派からロマン派、近現代まで演奏者のナビゲーションで文字通り「旅をする」のだが、明快で温かいその語り口は、それぞれの作品への、そしてこの日集まった小さな聴衆への愛情に満ちていて、小川典子が子どもを対象としたこうしたコンサートに強い情熱を持って取り組んでいることがうかがえる。そして彼女の目を通して語られる世界の音楽は、グローバルに活躍するピアニストならではの経験と実感に裏打ちされていて、易しい言葉と決して難解ではない内容を選んでいるにもかかわらず、音楽を通して見る世界の広さ、そこに暮らす人々の営みに想いを巡らす豊かな時間となった。

子どもが、大人が、という線引きを勝手に作っていたのは私だけだったのかもしれない。子どもでも大人でも、同じものを同じように味わい、感動することができるのが音楽の本来の素晴らしさなのだ…そのような思いを胸に帰路についた。今後もこのようなコンサートにさらにたくさんの子どもたちが、そして大人たちも足を運んでほしい。



撮影：日置真光